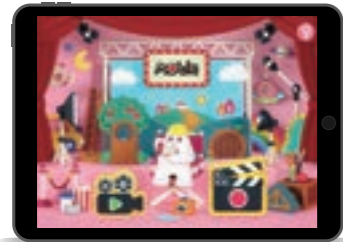


ICTで遊びがつながる、ひろがる。

子どもたちが素材や道具を自由に使って、工夫しながら作品づくりを楽しむ。そんなすばらしい保育環境が整った中央ヴィラこども園は、KitSもうまく使っているようです。ふだんの遊びをICTを使ってさらに広げた好例です。KitSを監修いただいている大豆生田先生のコメントも一緒にご覧ください！

今回紹介するアプリ

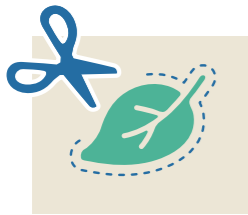


動画制作アプリ

mobie

モビー

お花、先生の似顔絵。園にあるいろいろなものを写真に撮って取り込んだり、声を吹き込んだりして、アニメーションを作成できるアプリケーションです。子どもたちの作る物語やつづやきを残したり、作った動画を他の遊びで活用することができます。



写真を切り抜き、素材にします。



自分で描いた絵や写真を自由に動かすことができます。

実際の動画はこちらからご覧になれます



保育での活用事例 中央ヴィラこども園

→ 遊びがひろがる保育環境



アトリエに素材がどっさり！

絵の具や廃材、どんぐり、まつぼっくり。好きなときに好きな素材を使えるアトリエが、みんなの遊びの拠点です。



ICTもどうぞ自由に

アトリエにはiPadもさりげなく置いてあります。何か調べたり、表現したりするための“道具”のひとつです。



ひとりがはじめた遊びが、

巨人の絵を毎日のように夢中で描くAくん。ある日、ハサミで絵を切って巨人のお人形遊びを始めました。



みんなの遊びにひろがった

まわりのみんなも紙のお人形遊びに参加！いろいろなごっこ遊びやお話作りがクラス全体に広がっていきましました。

→ ICTで遊びはも——っとひろがる

みんなが作ったお話を残しておけないかな？

ふだんのお人形遊びの様子を発表できたらいいね



KitSで映画にするのはどうだろう？



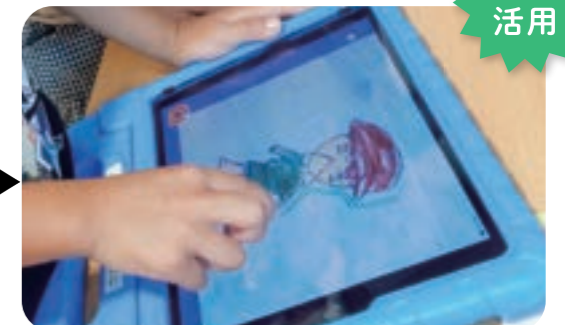
映画にはだれが出るのかな

大好きな巨人やチョコバナナなどなど。映画に出てくるキャラクターやストーリー、小物をみんなで話し合いました。



テーマは「お化けの夏祭り」に

みんなの思い出に残っていた、8月に行った夏祭り。ここから発表会のテーマが決まりました。



ICTで映画にしよう！

「魔法をかけてやる！」「こら！いじわるするな〜」。セリフを作って、絵を動かして、iPadアプリで映画をつくります。

ICT活用

→

さあ、ふだんの遊びを発表しよう！

発表会当日は、映像に合わせて自分で考えたセリフも発表。映像があったおかげが、緊張も少ないようでした。



→ 発表会が終わっても…



遊びはまだまだ続きます

「お化けの夏祭り」をきっかけにクラスでお化けが大ブーム！紙のお人形遊びはさまざまな形で展開されました。

Point

大豆生田先生による事例の見どころ



この事例はリアルな身体性やものづくりが軸となっており、表現の幅や他のお友達との共同性をひろげる道具として、ICTが活かされています。消えてしまうはずの物語がICTによって可視化され、残すことができたというのが素晴らしいです。

ICTはとても便利なものですが、その世界だけに閉じてしまうのは問題です。この事例では、映画作りが「お化け屋敷作り」という新たな遊びにつながっています。リアルとデジタルの往還が起きているのも、とても良いですね。